



【豪州のイノベーション・ スタートアップについて知る】

第3回：豪州の有望スタートアップによるピッチ

2021年3月12日

イノベーション道場
西中川 薫

本日のアジェンダ

1. スタートアップ概要
2. スタートアップピッチ
3. スタートアップ# 1 5B
4. スタートアップ# 2 JIBB
5. スタートアップ# 3 Dotterel
6. スタートアップ# 4 Baraja
7. 豪州のスタートアップニュース及びメディア



西中川 薫

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/kaorunishinakagawa/>

EMAIL: kaoru@innovationdojo.com.au

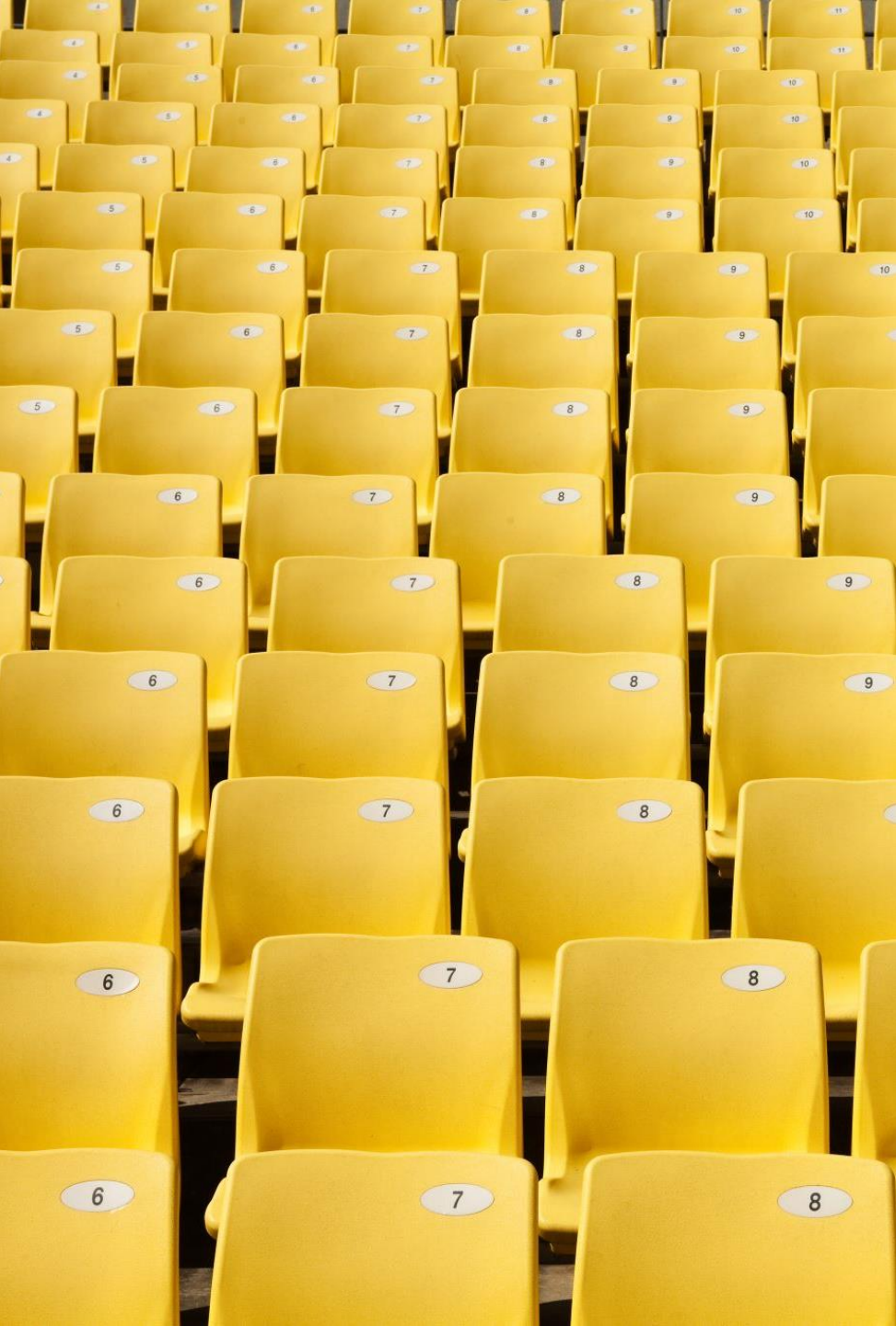
- ❑ 日本において、「福島中央テレビ」、半導体商社「リョーサン」及び米国デジタルメディア「ゲッティイメージズ」で約10年間勤務
- ❑ 2011年4月：渡豪し、ゲッティイメージズのシドニーオフィス、及び同業の「コービス」に勤務。
- ❑ 2015年：ニューサウスウェールズ大学でMBA取得中にイノベーション及び起業を学ぶ
- ❑ 2016年：ジョシュア フラネリーと溝尻歩と共にイノベーション道場を設立。日豪の大学生がコラボできるイノベーションプログラムを提供する一方、企業を集めたラウンドテーブルやスタートアップピッチコンテストを実施中。
- ❑ 2019年：企業イノベーションのリーダー的存在のFusion LabsにInnovation Consultantとして勤務。日豪の大企業のイノベーションプログラムの作成、及び運営を担う。

スタートアップ概要

1. 5B (<https://5b.com.au/>)
5Bはモジュラーデザイン、プリファブリケーション、及び簡易設置を駆使して、技術、購買、移動コスト、時間、及びリスクの一元化対応をすることで、ソーラーエネルギー業界に革命を起こします。
2. JIBB (<https://www.jibb.ai/>)
JIBBはホワイトボード及び紙に書かれた文章や絵をリアルタイムでデジタル化し、いつでもどこでも誰とでもコラボレーションを可能にするオンラインツール及びモバイルアプリです。
3. Dotterel (<https://www.dotterel.com/>)
Dotterelはノイズリダクション及びオーディオ録音技術を駆使した世界初のドローン搭載用空中音声マイクで、これまで不可能だったドローンを通じた遠隔会話を可能にします。
4. Baraja (<https://www.baraja.com/>)
Barajaは「スペクトラム スキャン」という革命的な LiDARセンサー技術を開発及び提供することで、将来のレベル4 自動運転の実現をサポートします。



BARAJA



スタートアップピッチ

スタートアップ # 1 5B



本社：シドニー

創立年：2013年

業界：ソーラーテクノロジー

投資ステージ：シリーズA

日本進出：検討中

問題点	ソリューション	アプリケーション例
<p>従来のソーラーファームの設置に関わる問題点：</p> <ul style="list-style-type: none">膨大な労働力が必要設置に時間が掛かる広大なスペースが必要ロジスティックが複雑設置位置の変更が不可能なため、一時的な設置が不可能	<ul style="list-style-type: none">モジュラーデザイン、プリファブリケーション、及び簡易設置を駆使労働力の縮小が可能小さなスペースにも設置可能ロジスティックの簡略化簡易設置により各種リスクの減少設置後の移動、及び方向変換が可能短期設置にも適用可能	<ul style="list-style-type: none">メガソーラー太陽光発電所が3倍速く、半分の設置スペース或いは2倍のエネルギー効率で設置可能。プリファブリケーション及び簡易設置により、これまでは設置困難だった場所にも対応可能 <p>例：埋立地、炭鉱、各暫定的施設</p>

Contact: info@5b.com.au / eden.tehan@5b.ccom.au

スタートアップ# 2 JIBB



本社：オーストラリア

創立年：2014年

業界：教育

投資ステージ：シード

日本進出：検討中

問題点	ソリューション	アプリケーション例
オンライン教育、及びオンラインと対人の混合教育における問題点 <ul style="list-style-type: none">低いエンゲージ率集中力の低下高ストレス低い理解力低い自己意識及び不安	<ul style="list-style-type: none">ホワイトボード及び紙に書かれた文章や絵をリアルタイムにデジタル化し、いつでもどこでも誰とでもコラボレーションを可能にするオンラインツール及びモバイルアプリ対人教育ならではの「ふれあい」をオンラインでも実現	<ul style="list-style-type: none">ホワイトボード：JIBBを通して紙やホワイトボードを使ったプレゼンやコラボレーションを促進することで、学習能力を65%アップすることが可能。テスト&クイズ：テスト&クイズの回答プロセスをリアルタイムでモニターすることで、生徒とのエンゲージを保つことが可能。

Contact: james@jibb.ai

スタートアップ # 3 Dotterel



本社：オークランド/クイーンズランド（支社）

創立年：2016年

業界：航空/ロボティクス

投資ステージ：プリシリーズA

日本進出：検討中（日本のドローン生産会社とパートナーシップ有り）

問題点	ソリューション	アプリケーション例
現在のドローンはパワフルな視覚センサーを搭載可能だが、その周辺の音声を聞き取る能力はゼロで、遠隔からのコミュニケーションを取ることが不可能。よって、現在は公共安全対策に適用不可能。	<ul style="list-style-type: none">救急サービス、防衛、及び公共安全サービスの担当者とドローン向けのアコースティック技術を開発。世界で初めてリアルタイムの双方向会話を可能にしたドローン搭載用空中オーディオセンサー。オーディオプロセスユニット、3Dマイク、及び軽量スピーカーシステムはライブコミュニケーション及び空中における音声の検波を可能にする。	<ul style="list-style-type: none">ドローンを使用した危険な状況及びコミュニケーション手段に制限がある環境における遠隔交渉。行方不明者の発見後、脱出手段や応急処置方法を伝える。軍隊の基地及び国境のパトロール時における状況察知及び不審者への尋問。ライブニュースやメディア向けに遠隔地及び到達困難な地におけるライブインタビューの実施。騒音を伴うプラットフォーム（地上ロボット、防弾車両、など）に適用可能

Contact: shaun.edlin@dotterel.com

スタートアップ# 4 Baraja



BARAJA

本社：シドニー

創立年：2015年

業界：自動運転車用LiDAR

投資ステージ：シリーズA3

日本進出：代理店マクニカ

問題点	ソリューション	アプリケーション例
<ul style="list-style-type: none">レベル3自動運転車を実現するには、長距離対応、高解像度、及び信頼度の高いLiDARが必要。高性能なLiDARを量産可能にするためには、更なるコストダウンと生産技術の向上が必要。	<ul style="list-style-type: none">スペクトラムスキャンテクノロジーは業界最長の距離、最高解像度、低コスト、及び高い信頼性を誇る、自動運転車向けの画期的なLiDARを実現。自動車、トラック、重機、建設機器に搭載可能	<p>自動車および重機の業界リーダーと協業中</p> <ul style="list-style-type: none">自動車用ADAS（先進運転支援システム）レベル4自動運転トラック大型鉱山機器及び建設機器

Contact: https://go.macnica.co.jp/maas_contact.html

豪州スタートアップニュース & メディア



<https://www.smartcompany.com.au/startupsmart/>



<https://www.startupdaily.net/>



<https://startupaus.org/>



<http://news.startupsoda.com.au/>



<https://startupnews.com.au/>



Innovationdojo.com.au